



アクティブラーニングと図書館の役割

医学部公衆衛生学講座教授
附属総合情報センター企画開発室長
大西 浩文

近年、大学における教育改革では、教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れたアクティブラーニングをカリキュラムに採用することにより、課題の発見と解決に向けた主体的・能動的・協動的な学修者を育成することが求められています。医学教育においても、アクティブラーニングの一つである課題解決型学習（Problem-Based Learning; PBL）が取り入れられるようになり、小グループに分かれ、シナリオに基づいた事前学習を行い、グループディスカッションやプレゼンテーションを通して、能動的に学修できる医療人の育成に取り組んでいます。私は本学のPBLチュートリアルチューターを何度か務めたことがあります。症例シナリオが与えられることから、どうしても診断名の謎解きに一生懸命になり、正解に到達すると満足して終わってしまう学生さんが多いと感じています。医学教育におけるPBLチュートリアルの本来の目的は、事前学習やグループディスカッションなどを通して、シナリオにある課題に実際に直面したことを想定し、今の自分の知識や理解で十分対応できるのか、知識が不十分な場合はどのようにして情報を収集することができるか、またそれらの情報を単に知識として想起できるだけでなく、さまざまな場面で柔軟に利活用して対応できるか、複数のメンバーと意見交換し協同して課題を解決していく能力があるかといった、一歩下がって客観的に自分自身の学修状況を認知することではないかと考えています。また、日進月歩で研究が進んでいる医学領域において、情報量は急速に増大しており、その全てを医学教育の決められたカリキュラムの中で伝達するのは不可能に近く、情報伝達が中心の講義形式の教育には限界がきているように思います。近い将来、情報収集や知識の獲得は学修者自身が行い、情報をいかに収集し活用するか、生きぬいていく力を伝えるのが今後の医学教育になっていく可能性も十分考えられます。課題に直面したときに、自分はどのような方法で情報を収集・活用できるか、その大きなよりどころが図書館ではないかと私は考えます。知識が断片的と感じるのであれば、しかるべき成書に触れて体系的に知識を整理することや、電子ジャーナルで研究論文を読むことにより最新の研究を通して知識のアップデートを行うこと、3D解剖図譜のような電子コンテンツを活用して視覚的に理解を深めることなども可能です。また、アクティブラーニングにおいては、ディスカッションやプレゼンテーションを通じて他の人の意見や考え方を理解し、自分のより深い学びにつなげることや、多様なメンバーと協同して課題を解決していく能力を身につけることも重要です。本学の図書館では、そうした能動的なグループ学習ができるような環境として、この11月から図書館2階のAVルームをリニューアルしてグループ学習スペースも提供しております。学生の皆さんには、今後の激動の時代をたくましく生きていくことができる医療人を目指して、是非、本学図書館を活用して頂ければと思います。

「メディカルオンライン」FAXサービスのご紹介

附属総合情報センターでは、様々な形で研究支援を行っております。
その中から今回は、「メディカルオンライン」のFAXサービスについてご紹介します。

全文FAX送信を、**クリックすると...**

【アブストラクト】
【全文FAX送信】

お申込文献

インフルエンザ関連論文 最新の進歩 ～より迅速で正確な診断に貢献
掲載誌
グリエックマガジン, 45 (10) : 22 - 25, 2018

※文献のFAX受信はFAX機にてプリントアウトする方式に限定させていただきます。
※インターネットFAXサービス用のFAXをメール等で電子的に受け取るサービスのご利用はご遠慮ください。
申込された方の情報を入力して下さい。

氏名: 姓 (必須) 例) 日本太郎
E-mail: (必須) 例) abc@defghi.jp
所属名: 例) 日本株式会社
部署名: 例) 某部署
※カナは全角で入力してください。

※ FAX 番号は電話番号のみの入力して下さい。
例) 012-345-6789 (半角のみ)
※ FAX 番号は間違いのないよう、よくお確かめ下さい。
※ 複数文献では入力される方へ。
※ 前回の文献のFAX受信が完了してから次の文献をお申込ください。
※ 弊社側では複数回でFAX送信を実施しているため連続してご注文します。
※ 複数FAXご一筆用の場合は、リダイヤルとなり送信完了まで待機がかかる場合があります。
※ また、リダイヤルが繰り返すとリダイヤル検知（電気通信事業法に基づく規制）によりFAX送信エラーとなる場合があります。
※ 日本国外への送信はできません。

利用は学内者限定!

お申込文献

必要項目を入力して送信すると、平日9-18時受付分は当日受け取りが可能です。
※ 申込時の混雑状況により送信が遅れる場合があります。
※ 至急の対応はできかねますことをご了承下さい。

利用内容

雑誌発行後、契約上一定期間経過後でなければPDF配信できない医学文献のうち一部について、「メディカルオンライン」が指定の送付先にFAXでご提供するサービスです。情報センターのFAXを希望する場合は、申し込み後、必ずカウンターにご連絡ください。

(011-611-2111[代表], 24240[内線])

- 文献料金：無 料
(メディカルオンライン契約内サービス)
- 文献受取り：平日（月～金） 9：00～19：30
- 受取り場所：図書館2階カウンター
(当日中にお受け取り願います)

お問い合わせ

- 情報センター
電話：011-611-2111
FAX：011-641-9646
- 2階カウンター
内 線：24240, 24250
- 利用サービス
内 線：24170, 24180
e-mail：libserv@
sapmed.ac.jp

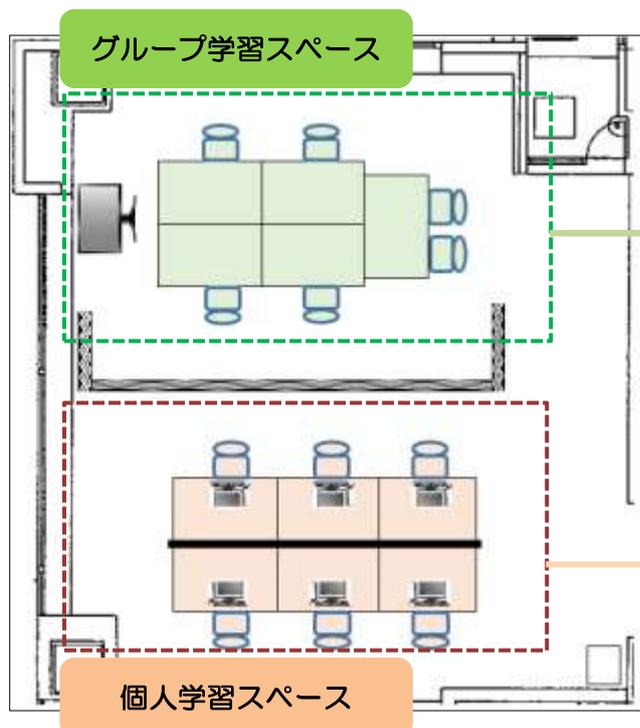
詳細は、情報センターHP → 「【学内者限定】メディカルオンライン 文献FAX送信サービスについて」 (URL：https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/news/3547/) をご確認ください。

図書館2階AVルームをリニューアルしました !!

平成30年9月19日(水)に、従来の個人学習スペースから、大型モニタやスクリーンを設置し、個人学習の利用はもちろん、グループでの学習メディアの視聴、ディスカッションやプレゼンテーション、ゼミ発表の練習などが出来る『グループ学習スペース』を設けました。

多目的に利用できる学習支援オープンスペースとして試行運用を開始しております。

皆さんの学習活動の拠点として、是非ご活用ください。



【24時間開放】

【グループ学習スペース】

複数人で利用する場合のみ、利用前に申請が必要です。詳しくは、AVルーム入口の利用案内または、2階カウンターの職員にお尋ねください。

【個人学習スペース】

個人で学習したい時にご活用ください。
VHSビデオデッキ、スキャナーを使って、AV資料の視聴やレポート作成等にご利用ください。

■ AVルームリニューアルの詳細は、当センターHPの新着情報をご確認ください。

URL: <https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/news/3568/>

(利用サービス 内線24180)

情報センターセキュリティ便り

皆様、年末年始の長期休暇のご予定は決まっていますでしょうか？温泉？スキー？家でゆっくり？それとも海外でバカンスでしょうか？様々なご予定を立てられていると思います。しかし、残念ながら犯罪者の魔の手は、長期休暇の際にも皆様を狙っております。皆様が最高の長期休暇を満喫するために、以下の点にご注意いただけましたら幸いです。



【野良 Wi-Fi にご注意】

旅行先や空港、また街のいたるところに Wi-Fi スポットが設置されております。これらは、施設サービスとして提供されているものや、各種携帯ベンダー等が設置しているものが多いですが、一部に利用者の情報を詐取することを目的として設置された Wi-Fi スポット、通称「野良 Wi-Fi」が存在します。「野良 Wi-Fi」は一般的に、以下のような特徴を持っています。

- ・利用するためのパスワードが掛かっていない
- ・暗号化されていない、もしくは脆弱な暗号化を採用している

上記のような「野良 Wi-Fi」は利用せず、Wi-Fi スポットは信頼されたものをご利用ください。



【怪しいメールは開かない】

犯罪者はあの手この手を使って皆様の情報を狙っています。少しでも怪しいと思ったら、本文も添付ファイルも開かないようにしましょう。特に、本文内に URL がある場合は注意が必要です。これは、ショートメッセージや Line メッセージも同様です。

昨今、実際に存在する企業のメールを模倣したスパムやフィッシングメールが増えております。文面上全く怪しくなくても、送信元のメールアドレス等を確認し、不正なメールでないかどうかの確認をしてください。



【長期休暇明けのセキュリティアップデート】

長期休暇の間に重大な脆弱性等が公表され、セキュリティアップデートが必要になる場合があります。長期休暇明けはまず、ご利用中の OS やソフトウェアのアップデートを実施してください。

■連絡先■

総務・システム係

内 線: 22390、22490

Email: icccj@sapmed.ac.jp



◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内 線	E-mail	照会先
図書館の利用に関する事	24240	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス (カウンター)
学内所属員の文献複写依頼に関する事	24180	illo@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関する事	24170	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
図書に関する事	24160	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関する事	24230	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関する事	24160	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メールアドレス、LAN への機器接続に関する事	22390	icccj@sapmed.ac.jp	総務・システム係
図書館へのご意見・ご要望に関する事	24180	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス

誌名「Barks (パークス)」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮 (liber)」の英訳です。

パークス
Barks

Sapporo Medical University
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL 011-611-2111 (代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/>

E-mail libserv@sapmed.ac.jp